

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く
手をつなぎ のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



平和を考える！

2024年、被爆者の全国組織である日本被団協が核兵器廃絶に向けた長年の地道な活動を評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。先月、長崎と広島を訪れたノーベル委員会のフリドネス委員長は、昨年平和賞に被団協を選んだ理由について“彼らの活動を称えるのと同時に、世界に対して「いま核のタブーが脅かされている」という警鐘を鳴らすメッセージでもある”と述べています。

1945年、昭和20年8月9日、11時2分。一発の原子爆弾が長崎市の上空、約500mで炸裂しました。1945年末までにおよそ7万人の尊い命が奪われ、負傷された方の数はおよそ7万人に上り、現在も後遺症等で苦しんでいる方がおられます。

原爆投下から80年の節目の今年、子どもたちには、今に生きる世界中の人みんなで、平和をめざし、努力していかなければならないことをしっかりと伝えていきたいと考えています。

夏休みの学校は？

子どもたちはお休みですが、先生方は通常通りの勤務となっています。先生方の多くは、子どもたちが登校しないこの時を使い、他の学校等に出向き、研修を行っています。

○研修会・研究大会への参加

昨年度は校内で“実技研修 消しゴムハンコづくり”を行いたいへん好評でした。それを生かして今年度は、消しゴムハンコクラブを新設したところ、子どもたちにも大人気です。今年の校内での研修は“調理実習”でした。給食センターの調理員さんの研修と合わせて行い、ちゃんぽん・スパニッシュオムレツ・フルーツ白玉を作りました。調理の技能だけではなく、徹底された衛生管理、たくさんの食数を作る大変さを感じ取ることができました。



○環境整備

学校施設の維持と管理についても子どもたちが登校しない時に力を入れています。今年度は、図書室の環境整備とA棟2階の学習スペースの新設に力を入れています。

1学期の反省から、子どもたちの読解力、語彙の少なさなどに課題が見られたため、図書室を中心とした言語環境整備に力を入れることで、2学期より「ことばの力」を高めたいと考えています。また、少しの時間でも学習できること、2学期より行う個別学習のため、“ちょこっと学習コーナー”をつくりまします。より学習が身近なものとなるよう環境を整えていきます。

2学期も“自分でする！みんなでする！最後までする！”北っ子を育てていきます。

